

2015/02/22 はりはり

糞尿資源研究会（仮称） 第2回 報告会

防災とトイレ（1）

（有）あったか村 水環境

安藤 公門

◎第1回 伊沢正名さんの報告の核心

自然と人間の直接的な原理関係で「愛のお返し」

◎自然と人間の間には設備と道具が入る段階 媒介

今回の報告の要旨 3点

1，東日本大震災と避難所のトイレ

ポットンが一番 気仙沼清涼院というお寺で聞いたこと。 文明のエアポケットとしての災害時トイレ。トイレの2面性 女神様と不動明王がいる。

2，社会の水準と技術の回答

災害時のトイレは、まだまだ明らかにされていないことが多い。「助かった命を避難所で落とす」 兵庫県の指針とNPO法人日本トイレ研究所のまとめが、到達点。避難所と障がい者。原発再稼働と原発事故の避難計画～絶対不可能。

3，技術（者）の課題

初動と5日間 場所 処理法 材料（軽さ） コスト 事前の準備 避難の管理者の負担軽減。山のトイレとの類似 屋久島の場合。携帯トイレ。

参考

安溪遊地・安溪貴子著『島からのことづて 琉球弧聞き書きの旅』

葦書房、2000年。 (p 50)

「ある時に神様をいろいろな場所に配置することになって、便所（フルヤ）にはどの神様が
行くか、となった時に飛び切りの美人でまた位も高い女の神様が希望して便所の神様（フ
ールヤヌカン）になられたそうです。

それで便所の神様は特別に力の強い神様で、ほかの神様をお願いしても通らない願い事は、
便所の神様をお願いしたら通るといわれます。これは、ユタ（職業的な霊能者）も話して
いたことですよ。」

『あんなあ よおうききや』 玉置半兵衛著

京都新聞出版センター 2003年

サブタイトル:京の言の葉 しにせの遺心伝心 1,238円(税別)という本からの引用です。

===== 参考 p 188~より引用 =====

うんこ

あんなあ よおうききや。

人間が死んだらお葬式するやろ。きれいに花で飾ってもろて、みんなにお参りしてもろて、か
わいそうに言うて泣いてもろて、お寺さんに拝んでもろて、人間だけが、そんな大そうに葬式して
もろてずいとおもわへんか。動物も植物もみんな生き物には命があるのや。人間と同じ尊い
命を持っているのや。便所は、人間が生きるために殺して食べた動物らのお葬式の場所なんや。
家のお仏壇をきれいにしておくのと同じで、人間が食べた生き物のお葬式の場であり、お墓と思
うて感謝の気持ちで、便所はいつもきれいにしておくもんや。

『便所を見たらその家がわかる』といわれるやろ。それは優しい心があると便所をきちんとき
れいにする心が自然とでてくるからや。『人間が万物の霊長』や『人間が動物の中で一番偉い』
と言うのやったら、人間にしかできんことを、他の動物にしてあげてこそ、万物の霊長と言えるの
や。わかったか。もう今から、うんこが汚いなんて言うたらあかんえ。明日からうんこに手を合わ
してあげや。